

教育後援会について

教育後援会会長 野村明子

父母等の皆様、新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

武庫川女子大学教育後援会は、学生の皆様が安心安全で充実した学生生活を送ることができるよう、より良い環境作りに取り組んでいます。

1965年に保護者会として発足し、皆様からお預かりしている会費をもとに、キャリア支援、校友会活動の支援、健康支援などを行っています。在学生の父母等の皆様で組織され、本部と北陸、中国、四国、九州の4支部が置かれています。

毎年6月に定期総会が開催され、事業や予算の審議を行い、その内容は定期総会議事概要として、皆様にお届けしています。

定期総会においては、各クラスから選出された「評議員」の父母等の皆様にご出席をお願いしています。

主な活動行事として地域別教育懇談会があります。支部4会場（金沢、広島、高松、福岡）と本部会場（中央キャンパス）にて8月から9月にかけて開催しています。

地域別教育懇談会では、学生生活の現状についての説明、学科の先生方との個人懇談、就職活動体験談の発表や各種相談コーナーなどがあります。

父母等の皆様にとっては学生生活の現状を知る機会に、学生の皆様には自身の学生生活を見つめ直す機会となり、大変好評をいただいていますので、是非ご参加いただければと思います。

最後に、父母等の皆様にお願いがございます。

クラスの「評議員」は各クラスの担任の先生の推薦によって選出されます。4月半ばに依頼文書が発送されますので、お手元に届きましたら是非お引き受けくださいますようお願い申し上げます。

今後とも教育後援会の活動にご理解、ご協力をよろしく願います。